

《放射線について考えよう》

殖生小学校

神津 寿美子

学校で放射線測定を経験した子どもたち。測定値に出てきたこの数値って、普通なのかな？放射線って、いつもあるのかな？と疑問を持ったことを機会に、放射線ってどんなもので、どんなところにあるものか、私たちの生活とどう関わりがあるのかについて、信州大学教育学部の村松久和教授に教えていただきました。

村松教授からは、放射線は日常生活の中に存在していること、私たちはそれを利用して生きていることなどを視覚を通してわかりやすく教えていただきました。中でも、目に見えないはずの放射線が霧箱を使った実験で軌跡として見ることでできたときには、子どもたちから歓声があがり、放射線の存在を実感することができたよい経験になりました。最後に、今後自分たちが大きくなったときに、原子力発電をするかどうか、これから勉強してしっかり考えていこうと教えていただきました。

身近な放射線について学び、自分たちの将来について考える良い学習ができました。



霧箱実験で見た放射線

子どもの感想から

私たちは普段から、目には見えないけれどたくさんの放射線をあびていることがわかりました。放射線は人間に害を与えることもあるけれど、放射線のおかげで人間だけではできないこともできることがすごいと思いました。今日は、放射線を目でみることができ、びっくりしました。放射線をとっても身近に感じました。

《各学年の環境教育》

- | | | | |
|----|-------|---|----|
| 1年 | | 校地の緑化活動（あさがお・さつまいもなど栽培を主に） | |
| 2年 | | 校地の緑化活動（トマト・さつまいもなど栽培を主に） | |
| 3年 | | 校地の緑化活動（ひまわり・さつまいもなど栽培を主に） | |
| 4年 | | 社会科でごみの学習からの発展として学区のゴミ拾い活動
環境サミット参加 校地の緑化活動（ヘチマ） | |
| 5年 | | 学校サブ花壇の花栽培、放射線学習 | |
| 6年 | | 学校メイン花壇の花栽培、児童会アルミカン集め | など |



緑のカーテン



緑化活動



学校メイン花壇